



保證準備發行額間接制限法ノ得失(2)

服部, 文四郎

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 13(1):53-76

(Issue Date)

1912-07

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051893>



保證準備發行間接制限法ノ得失 (其二)

早稻田大學教授

ドクトル、オプ、
フ井ロソフイー

服部文四郎

五、制度ノ批評

然レド此ノ制度ハ果シテ學者實際家ノ多クガ豫期スルガ如キ長所ノミヲ有シテ何等ノ缺點ナキ完全ナル紙幣發行ノ方法ナリヤ、之ニ關シテハ獨逸帝國銀行設立ノ當時其ノ設立ニ少ナカラザル成績ヲ有スルバムベルガーノ寧ロ其ノ始メニ反對ノ態度ヲ採リタルアリ其ノ後學者實際家ニシテ此ノ制度ニ反對スルモノ絶無ナリト云フベカラズ、且ツ之ヲ我國竝ニ獨逸ニ於ケル實驗ニ徴スルモ此ノ制度ハ一般ニ豫期セラル、ガ如キ長所ヲ實際上ニ現ハスモノニアラズシテ却テ尙ホ他ニ少ナカラザル缺點ヲ有スルモノナルニ注意セザルベカラズ、然レバ以下此ノ制度ヲ更ラニ考究シ、其ノ長所ハ果シテ實際上ニ現實セラル、モノナリヤ、又タ其ノ缺點ハ那邊ニ存スルモノナリヤヲ見ントス、但シ以下其ノ制度ノ短所若クハ缺點ナリトスル所ヲ述ブレバ自ラ其ノ長所ト相對照セラレテ既ニ述ベタル三個ノ

長所ハ必ズシモ凡テ實現セラル、モノニアラザルヲ了解シ得ルヲ以テ重複ニ亘ルヲ避ケンガ爲メ既ニ述ベタル長所ヲ直接ニ批評セズ、直チニ全體ニ亘リテ制度ノ論評ヲナスベシ、

一、紙幣ト正貨トノ割合ハ之ヲ顧ミズ、保證準備ヲ以テ發行シ得ル紙幣ノ金額ヲ豫メ一定シ正貨ト保證準備發行制限額トヲ加ヘタルモノ以上ニ紙幣ヲ發行スルトキハ之ヲ制限外發行トシテ之ニ課税シ成ル可ク早ク制限内ニ減退セシメントスルノ制度ハ一ニ制限外發行ノミヲ見テ紙幣ノ發行額ト正貨準備トノ割合ハ敢テ之ヲ等閑視スルモノナリ、今例ヲ以テ之ヲ説明スレバ茲ニ銀行アリ左ニ掲グル第一ノ場合ト第二ノ場合ニ於ケルガ如キ紙幣ノ發行ヲナシタリトセヨ。

第一ノ場合

紙幣發行總額

三億五千萬圓

正貨準備

二 億 圓

内 保證準備發行制限額

一億二千萬圓

制限外發行

三千萬圓

第二ノ場合

紙幣發行總額

二億二千萬圓

正貨準備

一 億 圓

内 保證準備發行制限額

一億二千萬圓

制限外發行ナシ

右ノ例ヲ以テ之ヲ見レバ第一ノ場合ニ於テハ制限外發行ヲナスガ故ニ斯ル紙幣ニ對シテハ租税ヲ課セラレ第二ノ場合ニ於テハ制限外發行ナキガ故ニ租税ヲ課セラル、コトナシ、然ルニ紙幣發行額ト正貨準備トノ割合ヲ見ルニ第一ノ場合

ニ於テハ參億五千萬圓ニ對シテ貳億圓アルガ故ニ之ヲ百分比例ヲ以テ示サバ五割七分一厘ニ相當シ、第二ノ場合ニ於テハ貳億貳千萬圓ニ對シテ壹億圓ナルガ故ニ四割五分四厘ニ當ル、四割五分四厘ノ正貨準備アル紙幣ト五割七分一厘ノ正貨準備アル紙幣ト孰レガ確實ナリトスベキヤ、他ニ特別ナル事情ナキ限り割合ノ多キ五割七分一厘ノ正貨準備アル第一ノ場合ニ於ケル紙幣ヲ以テ第二ノ場合ニ於ケルモノヨリモ確實ナリトナサルベカラズ、若シ單ニ紙幣ハ其ノ兌換ヲ確實ナラシムルニ注意セザルベカラザルモノナリトセバ同ジク租稅ヲ課スル場合ニ於テモ確實ナラザルモノニ之ヲ課シ、確實ナルモノニハ課稅スルノ必要ナシト云ハザルベカラズ、然ルニモ拘ラズ、此ノ制度ニ於テハ第二ノ場合ニ於ケル比較的確實ナラザルモノニハ租稅ヲ課スルコトナク、却テ第一ノ場合ニ於ケル比較的確實ナルモノニ課稅スルモノナリ、之レ此ノ制度ノ紙幣ト正貨トノ割合ニ注意セザルモノナリトナス所以ニシテ制限外發行ニノミ餘リニ重キヲ置キ過ギタルモノナリト云ハザルベカラズ、而シテ右ニ掲ゲタル第一竝ニ第二ノ場合ハ決シテ空想的ナルモノニアラズシテ第一ノ場合ハ最近我國ニ於ケル紙幣發行ノ狀況ニ近ク、第二ノ場合ハ最近之ヲ見ルヲ得ズト雖モ日露戰爭前ニ於ケル我國ノ紙幣發行ノ狀態

ニヨリタルモノナリ、

二、紙幣ノ兌換必ズシモ確實ナラズ、保證準備ヲ以テ發行スル紙幣ノ金額ヲ間接ナガラニモ制限スル以上ハ其ノ點ニ於テ紙幣ノ兌換ヲ確實ナラシムルヲ得ベキモノナリト雖モ既ニ右第一項ニモ述ベタルガ如ク紙幣ト正貨トノ割合ニ深キ注意ヲ拂ハズ、特ニ我國ニ於ケルガ如ク制限外發行ハ唯々大藏大臣ノ許可ヲ得テ租稅ヲ仕拂ヘバ其ノ金額ニ何等ノ制限ヲ受ケザル所ニ於テハ假リニ無制限ナラズトスルモ夥シク制限外ノ紙幣ヲ發行シテ紙幣兌換ノ基礎ヲシテ薄弱ナラシムル恐ナシト云フベカラズ、固ヨリ大藏大臣ハ危險ナル程度ニ達スルマデ制限外紙幣ノ發行ヲ許可スルコトアラザルベシト雖モソハ平常ノ日ニ於テ云ヒ得ベキニ止リ、常ニ財政上ノ都合ニヨリテ中央銀行ノ紙幣發行ヲ左右スルニ慣レ、又タ其ノ制度自身ニ於テ無制限ニ制限外發行ヲ許ス所ニ於テハ時ニ事變其他ノ場合ニ於テ莫大ナル紙幣ノ發行ヲナサシムルコトナシト云フベカラズ、然ルトキハ紙幣ノ兌換ハ甚ダ不確實ナルモノトナルノ恐甚ダ大ナリ、但シ獨逸帝國銀行ノ紙幣ノ發行ニ對シテハ此ノ批評ハ當ラザルナリ、何トナレバ獨逸ニ於テハ保證準備發行額ヲ間接ニ制限スト雖モ之レト同時ニ比例準備發行法ヲ折衷シ縱令制限外紙幣ノ發

行ヲナスモ正貨準備ハ常ニ必ズ銀行ノ發行スル紙幣ノ總額ニ對シテ少ナクトモ三分ノ一タラザルベカラザルノ規定アレバナリ、

三、資金ニ對スル需要ノ性質ヲ顧ミズ、此ノ制度ハ第一項ニモ説明シタルガ如ク唯獨リ紙幣發行額竝ニ制限外發行ニ付テノミ大ナル注意ヲ拂ヒ、其ノ紙幣發行額竝ニ制限外發行ガ如何ナル原因ニヨリテ生ジタルモノナルヤヲ問ハザルナリ、換言スレバ紙幣ノ増發ヲナサシムル資金需要ノ性質ハ毫モ之ヲ顧ミザルモノナリ、然レバ其ノ如何ナル場合タルヲ問ハズ苟モ制限外紙幣ノ發行アルトキハ直チニ之ニ課税シテ紙幣發行額ヲ其ノ制限内ニ減退セシメント計ルモノナリ、

然ルニ資金ニ對スル需要ハ凡テ同性質ノモノニアラズシテ同ジク資金ニ對スル需要増加スル場合ニ於テモ時ニハ何等之ヲ顧慮スルヲ要セズ、自然ニ放任スルヲ可トシ、利子ヲ高メテ其ノ需要ヲ制御スルノ必要ナキコトアレバ或ハ時ニ經濟界ノ紊亂ヲ豫防スルガ爲メ利子歩合ヲ引上ゲ資金ノ需要ヲ制御セザルベカラザルコトアルベシ、今簡單ナル例ヲ以テ之ヲ説明スレバ國民經濟社會ニ於テハ時ニ一般ノ人氣ニヨリテ將來ニ對スル樂天的思想流行シ一般需要ヲ増加シテ物價騰貴トナリ上景氣ノ狀況ヲ呈シテ事業熱勃興シ終ニハ投機熱旺盛トナリ資金ノ需

要之ニ伴フテ増加スルコトアリ、時ニハ決算ノ時期、收穫ノ季節ヲ始メトシ重要輸入品ノ出盛リ期、仕入期等ノ如キ所謂金融ノ季節ニ於テ資金ニ對スル需要ヲ増加スルコトアリ、而シテ金融季節ニ於ケル資金ノ需要ハ年々一定ノ時期ニ於テ起リ豫メ之ヲ知ルコトヲ得ベク且ツ其ノ季節ノ經過ト共ニ必ズ其ノ需要ハ減退スルモノナリト雖モ企業熱勃興シ、投機熱流行スル際ニ増加スル資金ノ需要ハ何時起ルモノナリヤ、之ヲ豫知スルコト難ク且ツ斯ル資金ノ需要アルニ應ジテ之ニ供給ナサバ其ノ供給ハ益々物價ヲ騰貴セシメテ投機熱ヲ益々盛ナラシメ資金ニ對スル需要ヲ益々増加セシムルニ至ルモノナリ、之ヲ以テ投機熱ノ旺盛ナルヨリ生ズル資金ノ需要ハ終ニ經濟恐慌ヲ惹起シテ國民經濟ヲ紊亂セシムルノ恐アルガ爲メ利子歩合ノ引上ニヨリテ之ヲ減退セシメザルベカラザルモノナリト雖モ金融季節ニ於ケル資金ノ需要ハ金融季節ノ經過ト共ニ自然ニ放任スルモ減退スルモノナレバ利子歩合ノ引上ニヨリテ需要ヲ制御スルノ必要ナキモノナリ、

然ルニ保證準備發行間接制限法ハ苟モ制限外ノ紙幣ヲ發行セバ其ノ紙幣ノ増發ガ如何ナル原因ニ基ヤタルモノタルヲ問ハズ之ニ課税シテ制限内ニ減退セシメントスルモノナレバ金融季節ニ於ケル資金ノ需要増加スル場合ニモ當然之

ニ課税シ、其ノ需要ヲ制御セントスルモノナリ、茲ニ於テ眞ニ國民經濟ノ利益ヲ標準トシテ其ノ營業方針ヲ定メントスル中央銀行ハ制限外紙幣ノ發行ヲナシ之ニ課税セラル、モ尙ホ割引貸付ノ利子歩合ヲ引上グズ課税ヨリ生ズル不利益ヲ自ラ甘ンジテ忍バザルベカラザルコトアリ、斯ノ如キハ之レ決シテ其ノ當ヲ得タル制度ナリト云フコト能ハザルナリ、

一九一〇年獨逸ニ於テハ終ニ此ノ不都合ヲ認メ三月、六月、九月、十二月ノ金融季節ニ於テハ獨逸帝國銀行ニシテ制限外紙幣ノ發行ヲナスモ其ノ金額貳億馬克ニ達スルマデハ租税ヲ課セザルコトニ改正セリ、之レ斯ル四季拂ノ決算時期ニ當ル金融季節ニ於テハ縱令銀行ニシテ制限外ニ紙幣ヲ増發スルモ何等之ヲ壓迫スルノ必要ナキト獨逸帝國銀行ハ屢々一方ニ制限外發行ノ紙幣ニ對シテ五分ノ租税ヲ支拂ヒナガラ他方ニ五分以下ノ利子歩合ヲ以テ割引貸付ノ要求ニ應ジ銀行自ラ損失ヲ蒙リツ、アリシヲ以テナリ、然レバ此ノ資金需要ノ性質ヲ顧ズトノ非難ハ今ヤ獨逸帝國銀行ニ對シテハ之ヲ云フコト能ハザルニ至レリ、

四、紙幣發行ノ伸縮ハ常ニ必ズ之ヲ望ミ得ルモノニアラズ、保證準備ヲ以テ發行シ得ル紙幣ノ金額ヲ豫メ制限シ、必要起ルニ應ジテ制限以上ノ紙幣ヲ發行セシム

ルトキハ金融市場ノ狀況ニヨリテ銀行ノ發行スル紙幣ハ増減シ、紙幣ニ伸縮力ヲ有セシムルモノナルコト別ニ疑ヲ容ル、ノ餘地ナキガ如シト雖モ之レ又々他ニ特別ナル事情ナキ場合ニ限ルモノニシテ如何ナル場合ニ於テモ常ニ必ズ國民經濟ノ自然ノ狀況ニ應ジテ紙幣ハ其ノ發行ヲ伸縮スルモノナリト云フコト能ハザルナリ、即チ今若シ金融市場ニ於ケル金利ハ著シク高キニモ拘ラズ制限外發行ノ紙幣ニ對スル課稅率低クシテ其ノ兩者ノ間多少大ナル利差アランカ、銀行ハ制限外紙幣ヲ發行シテ之ニ對シテ租稅ヲ仕拂フモ之ヲ他ニ割引貸付ニ使用スレバ尙ホ利益ヲ得ルノ見込アルヲ以テ紙幣ハ、自然的ト云フヨリモ稍ヤ人爲的ニ膨脹シ其レ丈紙幣ノ屈伸力ヲ減殺スルニ至ルベク、又々銀行ト政府トノ關係極メテ密接ニシテ財政上銀行ニ對スル壓迫強ク、中央銀行ノ資金ヲ單ニ財政上ノ便宜ノ爲メ多ク利用スルコト、ナラバ銀行ハ勢ヒ紙幣ヲ増發シテ之ニ應ズルコト、ナリ、之レ又々紙幣ノ伸縮ヲシテ自在ナラシメザルニ至ルベク、特ニ最近我國ノ實際ニ見ルガ如ク常ニ夥シキ在外正貨ヲ有シテ內國ニ於テハ之ニ對シテ紙幣ヲ發行セシメ同時ニ凡テ海外ニ於ケル仕拂ハ此ノ正貨ヲ以テ之ニ宛テ尙ホ在外正貨乏シキヲ告グルニ至レバ更ラニ外債ヲ募集シテ之ヲ補充スルコト、ナサバ正貨ハ本來

海外ノ支拂ニ宛テラレテ輸送セラレ其ノ額減ジテ始メテ紙幣發行額ノ減少トナルベキニ正貨ハ増加コソスレ減少スルコトナキヲ以テ紙幣モ亦タ回收セラレズ從テ物價ハ下落セズ輸入超過ノ勢ハ繼續シテ經濟自然ノ作用ヲ妨害シ紙幣ノ伸縮力ヲ失ハシムルニ至ルモノナリ、

五、正貨ノ性質ヲ顧ミズ、正貨準備アリテ之ニ對シテ紙幣ヲ發行スルモノナラバ其ノ紙幣ハ正貨ヲ代表スルモノニシテ正貨ヨリモ運搬携帶ニ遙カニ便利ナル上ニ正貨ノ使用ニヨリテ生ズル磨滅ヲ防グヲ得ルノ利益アリ、斯ル紙幣ノ發行ハ固ヨリ之ヲ制限スルノ必要ナシト雖モ既ニ前項ニモ述ベタルガ如ク紙幣發行ノ準備トナルベキ正貨ガ紙幣ヲ發行スル銀行ノ庫中ニ存在セズシテ海外ノ金融市場ニ預金トシテ存在スルノミナラズ、其ノ正貨ハ債務ノ影タルニ於テハ紙幣ノ發行ハ其ノ負債ノ増減ニヨリテ左右セラレ、經濟自然ノ作用ニヨリテ増減スルコトナク、人爲的ニ大ナル影響ヲ受クルコト、ナルベシ、之レ正貨ノ性質ヲ顧ズシテ單ニ正貨ナル以上ハ如何ナル場合ニ於テモ之ニ對シテ紙幣ヲ發行シ得ルモノトナスガ故ナリ、

蓋シ紙幣發行ノ準備トナルベキ正貨ニシテ始メヨリ銀行ノ所有スルモノナラ

ンニハ之ニ對シテ紙幣ヲ發行セシムルモ敢テ何等ノ故障ナク又タ毫モ之ニ特別ナル注意ヲ拂フ必要ナシト雖モ若シ其ノ正貨ガ他ヨリ預ケ入レラレ要求次第返濟ニ應ゼザルベカラザルモノナルニ於テハ之レ銀行ノ債務ニ外ナラザルモノニシテ完全ニ銀行ノ所有ニ歸屬シタルモノナリト見ルコトヲ得ザルナリ然ルニ今若シ斯ル正貨ニ對シテ單ニ正貨ナルノ故ヲ以テ其ノ金額ニ達スル紙幣ヲ發行セシメ其ノ紙幣ヲ貸付割引ニ使用セシムルトキハ之レ恰モ何等ノ準備金ヲ置カズシテ預金全部ヲ他ニ利用スルト同一ノ結果トナリ健全ナル方法ナリト云フベカラザルナリ固ヨリ正貨ヲ銀行ニ預金スル者ハ必ズシモ多カラズ縱令正貨ヲ預金トスルモ凡テ同時ニ之ヲ引出スモノニアラズ又タ之ニ基キテ發行シタル紙幣ハ直チニ凡テ其ノ兌換ヲ要求セラル、モノニモアラザレバ深ク之ヲ憂フルノ必要ナシト雖モ紙幣モ預金モ共ニ銀行ノ債務タルモノナレバ右ノ如キ債務ノ上ニ債務ヲ重ヌルハ少ナクトモ大ニ注意セザルベカラザルモノナリ、

六、經濟界ヲ警戒スルノ效力ナシ此ノ制度ハ制限外發行ノ規定ヲ設ケ制限ヲ超ヘテ發行セラル、紙幣ニ對シテハ租稅ヲ支拂ハシムルモノナルヲ以テ茲ニ利子歩合ヲ引上ゲラレ物價騰貴事業勃興投機熱ノ流行ヲ制御シ經濟界ニ警戒ヲ與フ

ルノ效力アルモノナリトハ一般ニ承認セラル、所ナリト雖モ實際上果シテ此ノ制度ハ右ノ如キ作用ヲ有スルモノナリヤト見ルニ必ズシモ其ノ然ラザルヲ知ルナリ、蓋シ苟モ警戒タル以上ハ稀ニアルモノナラザルベカラズ警戒頻繁ニシテ絶ヘズ存続スルモノナランニハ人皆之ニ慣レ恰モ氣象上絶ヘズ暴風雨ノ警戒ヲ發スルガ如ク人凡テ之ニ特別ナル注意ヲ拂ハズ從テ警戒ハ終ニ警戒タラザルニ至ルベシ、今之ヲ我日本銀行竝ニ獨逸帝國銀行ノ實際ニ徴スルニ制限外紙幣ノ發行極メテ頻繁ニシテ殆ンド絶ヘズ存続シ、且ツ其ノ金額モ亦甚ダ少ナカラズ制限外發行アレバトテ直チニ利子ノ引上アルニアラズ、經濟界ニ警戒ヲ與フト云フガ如キハ之レ唯理論ニ止リ實際上之ヲ認ムルコト能ハザルナリ、

斯ク云ハットテ固ヨリ制限外發行ノ制度ハ其ノ本來ノ性質上經濟界ニ警戒ヲ與フルノ效力ナシト云フニアラズ、保證準備發行額ノ制限ニシテ其ノ國民經濟ニ於ケル通貨ノ需要ノ極度ニ應ジテ適當ニ定メラレ眞ニ經濟界ニ警戒ヲ與フベキノ時ニ於テ制限外發行ヲナスモノナラバ其ノ效果決シテ少ナカラザルモノナルヤ勿論ナリ、然レド保證準備發行額ノ制限ヲ適當ナル極度ニ定メンコト之レ實ニ至難ノ業ニ屬シ、現今ノ人智ノ程度ニ於テハ唯經驗上大凡ソノ方針ヲ立テ得ルニ

止リ何等ノ過誤ナキヲ保證シ得ルモノニアラズ、又タ縱令極メテ正確ナル制限ヲ定メ得トスルモ國民經濟ハ日ト共ニ進ミ月ト共ニ歩ミ變轉常ナキモノナレバ一旦定メタル制限モ經濟事情ノ變化ニヨリテ聽テ適當ナラザルモノトナリ、到底精確ナル標準ヲ定ムルコト能ハザルナリ、既ニ適當ナル標準ヲ定ムルコト能ハズ其ノ程度高キニ失センカ制限外發行ヲナスコト稀ニシテ經濟界ニ警戒ヲ與フルノ度數極メテ少ナク其ノ警戒ノ效果或ハ大ナルコトヲ期シ得ベシト雖モ制限ノ程度高キガ故ニ金融界甚シク逼迫ヲ告グルニアラザレバ制限外發行ヲナスコトナク、制限外發行ヲナサルベカラザルニ至ルトキハ經濟界ニ警戒ヲ與フルモ時既ニ遲キニ失スルノ恐アリ、之ニ反シテ制限ノ程度低キニ失センカ、既ニ述ベタル我國竝ニ獨逸ノ實際ニ見ルガ如ク制限外發行殆ンド常ニ絶ユルコトナク、人凡テ制限外發行ニ慣レ警戒ノ效力ナキニ至ルベシ。

特ニ制限外發行ノ紙幣ニ對スル課稅率ヲ適當ナル割合ニ定ムルコト之レ又タ難事ニシテ平常ノ日ニ於テ比較的高シトスル課稅率モ割引貸付ノ利子歩合ハ絶エズ動搖スルヲ以テ利子歩合一般ニ上騰スル際ニ於テハ却テ低キニ失シ銀行ハ租稅ヲ仕拂フモ尙ホ紙幣ヲ發行シテ之ヲ利用シ之レヨリ利益ヲ納ムルヲ得ルコ

トアリ從テ制限外發行ニ對スル課稅ハ利子歩合ヲ引上ゲ資金ノ需要ヲ抑ユルノ作用ヲナスコト能ハズ之レニヨリテ經濟界ヲ警戒スルコト到底不可能ニ屬ス現ニ獨逸帝國銀行ガ制限外發行ノ紙幣ニ課稅セラル、割合ハ百分ノ五ニ一定セラレ獨逸ニ於テモ時ニ低キニ失スルノ恐アルニモ拘ラズ歐洲ニ於ケル金融市場ヨリモ利子歩合ノ高キ我國ニ於テ制限外發行ニ對スル課稅率ヲ百分ノ五以上トナシ實際上ニ於テハ殆ンド常ニ百分ノ五ヲ課スルガ如キハ其ノ稅率低キニ失シ斯ル課稅ニヨリテ制限外ノ發行ヲ制限セシメントスル主旨ハ之ヲ達スルコトヲ得ザルナリ。

固ヨリ制限外發行ノ紙幣ニ對スル課稅モ伊太利北米合衆國竝ニ其他ノ諸國ニ於テ行ハル、ガ如ク發行ノ第一月ニ於テハ相當ノ稅率ヲ以テ課稅シ、月ヲ重ヌルニ應ジテ其ノ稅率ヲ高ムルカ或ハ英國ガロバートビール銀行條例ヲ停止シテ制限外紙幣ノ發行ヲナサシメタル場合ニ行ヒタルガ如ク其ノ貸付割引ノ利子歩合ヲ八分以上トナシ、斯ル紙幣ノ發行ヨリ生ズル凡テノ利益ヲ國家ニ沒收スルコトトナストキハ制限外發行ハ大ニ之ヲ困難ナラシムルヲ得ベシト雖モ現在我國ニ行ハル、制度ノ如キニ於テハ制限外紙幣ニ對スル課稅率低キニ失シ其ノ效力極

メテ微弱ナルモノナリト云ハザルベカラザルナリ。

事態以上ノ如シ之ヲ以テワグナー教授ハ嘗テ銀行調査委員會ニ於テ此ノ制度ヲ批評シ此ノ制度ハ多少ノ警戒ヲ經濟界ニ與フルモノナリト雖モ常ニ正當ナル警戒ヲ與フルモノニアラズ又タ投機熱ノ流行ヲ防止シ得ベキモノニアラズ却テ銀行ノ紙幣發行額ニシテ其ノ制限ニ近付クトキハ直チニ資金ヲ必要トセザルモノニモ銀行ニ對シテ資金ノ融通ヲ求メシメ一層甚シク金融ヲ緊縮セシムル恐大ナルモノナリ然レバ斯ル制度ハ有害無益ノモノナルヲ以テ宜シク之ヲ廢止スルニ若カズト述べ斯ノ如キ制度ハ人間思想ノ働キニ代ユルニ器械的技術ヲ以テセントスルモノナリト云ヘリ惟フニワグナー教授ハ制限外發行ハ經濟界ニ警戒ヲ與フルモノナルコトヲ承認スルモ其ノ警戒ハ誤レルモノナルヲ以テ之ヲ不可ナリトナスモノナリ然レド此ノ制度ハ縱令誤レルモノナルニセヨ經濟界ニ警戒ヲ與フルノ效力アルモノナリヤト見ルニ多年獨逸銀行業ニ經驗ヲ重キタルオブユト氏ハ一般獨逸ノ商人ニシテ獨逸帝國銀行ノ營業報告ニ現ハレタル制限外發行ニ注意スルモノ殆ンド之ナシト云ヒ又タ縱令銀行ノ營業報告ニ注意ヲ拂フモノト雖モ制限外發行ハ之レ銀行内部ノ關係ニ過ギズトナシ唯紙幣發行額ト其ノ準

備金トノ割合ニ注意スルニ過ギズ、制限外發行ノ制度ハ實際上ノ關係ニ於テハ、少ナクトモ無意義ノモノナリト云ヘリ、獨逸既ニ然リ、我商工業者ニシテ制限外發行ニ注意ヲ及ボサル敢テ怪ムヲ須イザルナリ。

六、改 善 法

保證準備發行額間接制限法ノ利害得失以上述べル所ノ如シ、此ノ制度固ヨリ其ノ長所ヲ有スルヤ敢テ疑ヲ容レズト雖モ世上大ニ之ヲ賞揚シタル長所ハ必ズシモ之ヲ實際上ニ實現セラル、モノニアラズ、又タ此ノ制度ハ多少ノ缺點ヲ有スルモノナルコト之ヲ拒ム能ハザルナリ、然レバ保證準備發行額ヲ間接ニ制限スルノ制度ハ決シテ理想的方法ニアラズ、唯現今實際ニ行ハル、制度ノ内比較的、最良ノ方法ナリト云ヒ得ベキノミ、但シ既ニ其ノ制度ニ缺點アリ而モ此ノ制度ヲ廢止シテ他ニ之ニ代ユルノ制度ヲ發見スルコト能ハズ、尙ホ其ノ缺點ハ其ノ制度ヲ根本的ニ變更セザルベカラザル程ニ重大ナラズトセバ宜シク其ノ缺點ヲ補ヒ之ヲ改善シ之ヲ善用スルノ方法ヲ講セザルベカラズ、而シテ信用經濟益々發達スル國民經濟ニ於テハ此ノ研究ハ決シテ之ヲ等閑ニ付スベキモノニアラザルナリ、以下少シク之ニ關スル愚見ヲ述ベン、敢テ改革意見ト云フ程ニモアラザルナリ。

蓋シ我國ニ於テ現在行ハル、紙幣發行ノ方法ハ純然タル保證準備發行額間接制限法ニシテ比例準備ノ方法ヲ折衷スルモノニアラザルヲ以テ左ノ諸項ニ注意スルヲ要ス。

一、紙幣ノ發行ヲ無制限タラシメザルコト、保證準備ヲ以テ發行スル紙幣ノ金額ヲ一定シ、豫メ之ヲ制限スト雖モ租稅ヲ仕拂ヘバ無制限ニ其ノ制限ヲ超過スルヲ許スノ制度ハ結局紙幣ノ發行ニ制限ナキト同一ノ結果トナルモノナリ、之レ即チ我國ニ於テ行ハル、制度ニシテ日本銀行ニシテ若シ制限外發行ノ紙幣ニ對シテ通常五分ノ租稅ヲ仕拂フトキハ其ノ制限外發行ハ無制限ニシテ正貨ノ割合ニ關係ナク、幾何ニテモ紙幣ヲ發行スルコトヲ得ベク、紙幣ト正貨トノ割合ハ極メテ薄弱トナルノ恐アルモノナリ、固ヨリ日本銀行カ制限外紙幣ノ發行ヲナス場合ニハ必ズ大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要シ大藏大臣ハ斯ル紙幣ノ金額ヲ定メ同時ニ年百分ノ五ヲ下ラザル租稅ヲ課スルコトヲ得ルモノナレバ此ノ點ニ於テ紙幣ノ發行ハ制限セラル、モノナリト云フヲ得ベシト雖モ我國ニ於テ大藏大臣ガ制限外紙幣ノ發行ニ課スル租稅ハ常ニ百分ノ五ニシテ其レ以上ニ達スルコト殆ンドナク、又タ平常ノ日ニ於テコソ過大ナル制限外ノ發行ヲ許サザレ、必要生スルニ

於テハ之ナシト云フコト能ハズ制度自身ニ於テ特別ナル制限ナキ以上大藏大臣ノ許可ヲ要スル制限ハ必ズシモ大ニ有效ナルモノニハアラザルナリ

然レバ紙幣ト正貨トノ割合ヲ多クシ、紙幣ノ兌換ヲ確實ナラシムルガ爲メ制限外發行ノ紙幣ニモ尙ホ制限ヲ置キ正貨ト紙幣トノ間ニ或ル關係ヲ維持セシムル制度ハ寧ロ之レ必要ノコトナリト云ハザルベカラズ、然ルニ紙幣ト正貨トノ間ニ或ル關係ヲ有セシムルノ制度ハ之レ比例準備發行法ニシテ學者竝ニ實際家ノ多クハ斯ル制度ハ第一、紙幣ト正貨トノ比例ヲ定ムルコト困難ニシテ正確ナル標準ナク其ノ比例少ナキニ失セバ兌換ノ基礎鞏固ナラズ比例多キニ失セバ正貨ヲ死藏スルコト多ク從テ不經濟タルヲ免レズ、第二、一旦金融界動亂シテ一時紙幣ヲ増發セザルベカラザル必要アルニ當リテ紙幣發行額既ニ其ノ比例ニ達スルトキハ最早紙幣ヲ増發スルコト能ハズ、從テ通貨ニ伸縮力ヲ有セシメテ金融界ノ困難ヲ救フコト能ハズ、第三、正貨準備減少スルトキハ其ノ比例ニ應ジテ紙幣ヲ回收セシメザルベカラズ、從テ假リニ一億圓ノ正貨準備アル場合ニ其ノ三倍タル三億圓ノ紙幣ヲ發行セシムルモ正貨準備參千萬圓減少シテ七千萬圓トナルトキハ紙幣ハ二億壹千萬圓以上發行スルコト能ハズ、僅カニ參千萬圓ノ正貨準備減少シタルガ

爲メ參億圓ノ紙幣ヲ貳億壹千萬圓ニ減少セシメザルベカラザルノ不便アリトノ理由ヲ以テ之ヲ排斥シ、我國ガ獨逸ノ紙幣發行方法ヲ模倣シテ其ノ一部タル比例準備發行法ヲ採用セザリシハ恰モ獨逸ノ紙幣發行方法ガ英國ノ紙幣發行方法ヨリ出デ、而モ英國ノ制度ヨリ進歩シタルガ如ク獨逸ノ制度ヨリモ大ナル進歩ヲナシタルモノナリト主張ス、惟フニ其ノ主タル理由ハ我國ノ紙幣發行ノ方法ハ保證準備發行額ヲ制限シ其ノ餘ハ制限外發行トシテ必要ニ應ジ自由ニ紙幣ヲ發行セシムルガ故ニ紙幣ノ發行極メテ自由ニシテ伸縮自在ナリト云フニアルガ如シ。然レド紙幣ノ發行自由ナルガ故ニ斯ル制度ヲ以テ良好ナル制度ナリトナスコト能ハザルナリ、若シ紙幣發行ノ伸縮力最モ大ニシテ極メテ自由ナルヲ以テ可ナリトセバ紙幣ハ始メヨリ之ニ何等ノ制限ヲ設ケザルノ優レルニ若カザルナリ、苟モ紙幣ノ發行方法ニシテ紙幣ノ濫發ヲ防止シ之ヲ制限セントスルモノナル以上ハ多少之ニ不自由ナル點アル固ヨリ當然ノコトナリト云ハザルベカラズ、又タ保證準備發行額ニ制限アルヲ以テ紙幣發行ノ制限ハ之ニ足ルモノナリトナスモノアラシモ既ニ我國竝ニ獨逸ニ於ケル實際上ノ經驗ニヨリテ之ヲ示サレタルガ如ク制限外發行殆ンド絶ユルコトナク、制限アルモノ之ナキニ均シキ狀態ナル以上

ハスル制限ハ決シテ紙幣兌換ノ確實ヲ計ル所以ニハアラザルナリ。
固ヨリ比例準備發行法ニ種々ナル缺點アルコト誠ニ論者ノ云フガ如シ然レド
比例準備發行法ハ少ナクトモ紙幣兌換ノ確實ヲ計ルノ長所アルモノニシテ其ノ
長所ヲ保存シ其ノ缺點ヲ交除スルノ方法全ク之ナキニアラザルナリ即チ平常ノ
日ニ於テハ假リニ三分ノ一ノ比例準備ヲ以テ標準トナサシメ金融逼迫資金ノ缺
乏ヲ感ジ紙幣ノ増發ヲナサバルベカラザル實際上ノ必要アルトキハ其ノ比例ヲ
少ナカラシムルノ餘裕ヲ存セシムルトキハ一般ニ唱ヘラル、ガ如キ缺點ハ之ヲ
除クコトヲ得ベシ例ヘバ平常三分ノ一ヲ標準トシ利子歩合八歩以上ニ達スルト
キハ四分ノ一ノ準備ヲ標準トナサシムルガ如ク金融界ノ狀勢ニヨリテ比例ヲ伸
縮セシムレバ可ナリ蓋シ單ニ比例準備ニ止マラズ如何ナル制度ニアリテモ制限
アル以上ハ其ノ制限ニ到達シテ尙ホ紙幣ノ増發ヲ必要トスレバ其ノ自由ヲ束縛
セラル、コト固ヨリ之レ避クベカラザルノ勢ナリ斯ル制限ナカラシメント欲セ
バ始メヨリ制限ヲ置クノ制度ヲ設ケザルカ制限ヲ置クモ有名無實ノモノタラシ
ムルニ若カザルナリ然レド斯ノ如キハ決シテ兌換ノ確實ヲ計ル方法ナリト云フ
コト能ハズ之ヲ銀行ノ方面ヨリ見ルモ斯ル有效ナル制限ヲ置ケバコソ制限ニ近

ヅクトキハ種々ナル困難ヲ感ズルヲ以テ豫メ斯ル制限ニ束縛セラレザランガ爲メ平素ヨリ準備ヲ豊富ニシ紙幣ノ濫發ヲ豫防シ確實ナル營業方針ヲ立テ國民經濟上ノ利益ヲ増進スルニ務メ、應テ又タ紙幣兌換ノ確實ヲ保證スルモノナリ。

二、制限外發行ノ紙幣ニ對スル課稅率ヲ一定セザルコト、既ニ再三述べタルガ如ク保證準備發行額ヲ豫メ一定シ其ノ制限ヲ越ヘテ發行スル紙幣ニ對シテ租稅ヲ課スレバ制限外發行ハ漸次減退シ、再ビ制限内ニ止ルニ至ルベシト雖モソガ實際上然ルヤ否ヤハ一ニ其ノ稅率如何ニヨリテ定マルモノナリ、即チ我國ノ實際ニ於ケルガ如ク兌換銀行券條例ニ於テハ制限外ニ對スル課稅率ハ百分ノ五以上トアルニモ拘ラズ殆ンド常ニ百分ノ五ヲ課スルニ於テハ一般ノ利子歩合ハ五分以上ナルコト多キヲ以テ制限外發行ニ對スル課稅ハ豫期ノ效果ヲ奏スルコト能ハザルナリ、固ヨリ金融市場ニ於ケル狀態ハ種々ナル事情ノ影響ヲ受クルガ故ニ朝夕ヲハカルコト難ク、利子歩合ハ絶エズ動搖シ時ニ五分ノ課稅ヲ以テ可ナリトスルコトアレドモ時ニハ其ノ反對ニ五分ノ稅率ハ極メテ低キモノタルコト多シ、我國ノ如キハ比較的標準利率高キ處ニシテ且ツ制限外發行ヲナサバルベカラザルトキハ一般ニ金融多少引締リ利子歩合ノ上騰ヲ示ストキナルヲ以テ五分ノ稅率

ハ何レヨリ見ルモ低キニ失スルモノナリ、然レバ稅率ハ比較的高ク定ムルト同時ニ金融市場ニ於ケル利子歩合ヲ標準トシテ之ヲ一定セズ、時々高低シ得ルモノトナサルベカラズ、要スルニ制限外發行ヨリ生ズル利益ハ之ヲ銀行ニ獲得セシムベキニアラザルナリ。

然リト雖モ制限外發行アルトキハ如何ナル場合タルヲ問ハズ課稅スルノ制度モ亦タ決シテ良法ナリト云フコト能ハズ、何トナレバ金融季節ニ於ケル資金ノ需要ハ既ニ説明シタルガ如ク年々一定ノ時期ニ於テ起リ季節ノ去ルト共ニ其ノ資金ハ回收セラレ、紙幣増發ノ結果物價ノ騰貴ヲ惹起シテ投機熱ノ流行ヲ獎勵スルモノニアラザレバ斯ル紙幣ノ増發ニ對シテ租稅ヲ課シ制限内ニ減退セシメントスルノ必要ナキモノナレバナリ、然レバ少ナクトモ年末其他ニ於ケル制限外發行ノ如キ或ル程度迄ハ之レガ課稅ヲ免除スルモ可ナリ、左スレバ制限外發行ノ度數其金額モ大ニ減少シ制限外發行ガ一般ニ警戒ヲ與フルノ效力モ大トナルベシ。

租稅ヲ仕拂ハザル制限外紙幣ノ發行ヲ許ストキハ政府ハ其レ丈ケ財政上ノ收入ヲ失フニ至ルベシトスルモノアランモ其ノ稅額ノ如キハ決シテ多額ニ達スルモノニアラズ、假リニ政府ハ多少ノ收入ヲ失フモノナリトスルモ之ヲ國民經濟ノ

利益ニ比スルトキハ多ク憂フルニ足ルモノニアラズ、又タ其ノ收入ヲ失ハザラント欲セバ銀行利益分配ノ方法ヲ採用スレバ可ナリ。

三保證準備發行額ヲ亂リニ増加セザルコト、紙幣ハ國富、人口竝ニ正貨ノ増加ノ如キ一般國民經濟ノ發達進歩ト共ニ其ノ増發ヲナサシムベク、從テ保證準備發行額ヲ漸次増加スルハ必ズシモ一概ニ非難スベキニアラズト雖モ保證準備發行額ヲ亂リニ増加スルトキハ紙幣ノ濫發トナリ物價騰貴ヲ惹起シ又タ一旦物價騰貴スルトキハ人爲的手段ヲ以テ紙幣ノ回收ヲ計リ物價ヲ下落セシメントスルモ種種ノ利害互ニ相衝突シ却テ弊害ヲ生ズル恐大ナレバ始メヨリ紙幣ノ濫發ヲ防止スルニ若カズ、且ツ保證準備發行額大ナルトキハ制限外發行ハ之ヲ亂リニスルコトナシト雖モ苟モ制限高クシテ尙ホ制限外發行ヲナス場合ハ大ニ金融ノ逼迫ヲ告グルノ時ニシテ社會ニ警戒ヲ與フルモ時既ニ遅ク制限外發行ノ制度ヲ設ケタル主旨ニ反スルコト、ナルベシ。

之ヲ英蘭銀行ノ實際ニ付テ見ルモロバートビル銀行條例ハ一八四四年ニ制定セラレ其ノ後英國ノ經濟事情ハ著シキ進歩發達ヲナシタルニモ拘ラズ、今日尙ホ一八四四年ニ定メラレタル保證準備發行額ヲ其ノ儘ニ維持シ、之ヲ英國全體ニ

付テ見レバロバートビール銀行條例ハ英蘭銀行以外ノ紙幣發行銀行ニシテ其ノ特權ヲ失フトキハ其ノ三分ノ二ヲ英蘭銀行ノ發行額ニ加ヘ其ノ餘ノ三分ノ一ヲ永久ニ消滅セシムルコト、ナシタルノ結果保證準備發行額ハ却テ減少シタルモノナリ、固ヨリ英國ニ於テハ銀行紙幣ヨリモ小切手ノ使用盛ナレバ紙幣ノ増發ヲ必要トスルコト少シト雖モ六十八年前ニ於テ定メラレタル保證準備發行額ヲ今日尙ホ其ノ儘ニ維持スルノミナラズ却テ減少セシメタルハ少ナクトモ其ノ發行額ヲ亂リニ増加セシメザル好適例トシテ之ヲ見ルコトヲ得ベク、又々之ニヨリテ正貨準備ノ増加ヲナシシムルモノナリト云フベシ特ニ前項ニモ述べタル通り金融季節ニ於テハ制限外發行ヲナスモ之ニ課稅セザルヲ可トスルヲ以テ若シ其ノ方法ヲ實際上ニ行フモノトスレバ之レ間接ニ保證準備發行額ヲ増加シタルト同一ナルモノナレバ其ノ金額ヲ亂リニ増加スルハ寧ロ大ニ之ヲ戒シメザルベカラザルモノナリ。

七、 結 論

要スルニ保證準備發行制限法ハ決シテ理想的ナル方法ニアラズ多少ノ缺點ヲ有スルモノナリ、但シ之ニ代ハル他ノ良法ナキ以上ハ暫ラク其ノ制度ノ改善ヲ以

テ甘ンゼザルベカラズ、而シテ改善セラレタル制度ト雖モ未ダ以テ其ノ缺點ヲ絶無ナラシムルコト固ヨリ難シ、蓋シ制度ハ元ト之レ死物ナリ、之ヲ活用スルト否トハ一ニ懸リテ之ヲ運用スル人材ニアリ、之ヲ以テ紙幣發行ノ方法モ制度トシテハ能フ限リノ改善ヲナシ其ノ餘ハ之ヲ運用スル人材ニ求メザルベカラズ、彼ノ英佛其他ノ諸國ニ行ハル、紙幣發行ノ方法ガ學理上甚ダ缺點多キモノナルニ拘ラズ大ナル弊害ヲ國民經濟ニ及ボスコトナク、英蘭銀行ノ如キ一八六六年以後今日ニ至ル迄最早一回ダモ銀行條例ヲ停止スルコトナキ之レ一ニ其ノ運用ノ方法宜シキヲ得タレバナリ、深ク顧ミル所アラザルベカラザルナリ。

現今我國ニ於テ最モ注意スベキハ蓋シ又タ人材ト政府トノ關係ニアラン、若シ夫レ銀行ノ經營宜シキヲ得テ受働的業務ニヨリテ能働的業務ヲ按配シ信用ヲ重シシ、危險ニシテ資金ヲ固定スル業務ハ之ヲ行ハズ、政府又タ財政上ノ便宜ニヨリテ中央銀行ノ資金ヲ利用スルコトナク、一ニ國民經濟上ノ利益ヲ伸張スルニ務メシムルニ於テハ紙幣發行ノ方法ノ如キ之ヲ規定セザルモ紙幣ノ濫發ハ敢テ之ヲ深ク憂フルノ必要ナキモノナリ、而シテ之レ主トシテ制度ノ問題ニアラズシテ人ノ問題ナリ。(完結)